

登 録 速 報

農 薬 名：ザンテツ1キロ粒剤（登録番号：第 22976 号）

適用拡大登録月日：平成27年8月5日

適用拡大登録内容：

- 適用土壌、適用地帯の区分を廃止する。

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ シスイ	移植後3日～ ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	1kg/10a	1回	湛水散布
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲出芽揃期～ ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで			

ピリミスルファンを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシロンを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内

注意事項の変更：

【削除】

- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしないこと。

【変更後】

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布すること。ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヘラオモダカは3葉期まで、ヒルム

シロは発生期まで、セリは再生始期まで、オモダカ、クログワイは発生始期まで、シズイは草丈3cmまでが本剤の散布適期である。

- 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業はていねいにおこなうこと。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなうこと。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
 - 略
- 直播水稻に使用する場合、以下の点に注意すること。
 - 出芽前の稲に対して薬害を生じるおそれがあるため、稲の出芽が揃わない場合は、稲の不完全葉期以降に散布すること。
 - 稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけること。
 - 除草効果の低下と生育抑制の薬害発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布すること。
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけること。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以 上